



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 吉川 友貞

TEL 03-5425-1595

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,238	△11.3	397	△59.0	405	△62.5	123	△82.4
27年3月期第2四半期	3,651	△13.9	969	△32.7	1,080	△25.5	702	△37.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 118百万円 (△81.8%) 27年3月期第2四半期 651百万円 (△45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	9.63	9.38
27年3月期第2四半期	55.33	54.07

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,276		12,340			75.3
27年3月期	18,599		12,473			66.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 12,251百万円 27年3月期 12,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	2.5	1,550	△39.4	1,450	△47.8	1,000	△43.5	78.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	13,628,500 株	27年3月期	13,580,800 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	799,579 株	27年3月期	799,579 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	12,815,279 株	27年3月期2Q	12,692,088 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、平成27年11月12日付にて、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）の売上高は、医薬品事業及び感染管理事業が減収となったことから、対前年同期比413百万円減（11.3%減）の3,238百万円となりました。売上総利益につきましては、減収に加え前年同期は返品調整引当金の戻入益が多額に計上されたこと等から、対前年同期比423百万円減（15.4%減）の2,318百万円となりました。

当第2四半期の販売費及び一般管理費につきましては、医薬品事業及び感染管理事業における広告宣伝、販売促進の強化等から、対前年同期比148百万円増（8.4%増）の1,920百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期の営業利益は対前年同期比571百万円減（59.0%減）の397百万円となり、経常利益は前年同期に多額の為替差益が計上されたこと等から、対前年同期比675百万円減（62.5%減）の405百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失に工場移転費用を計上したこと等から、対前年同期比578百万円減（82.4%減）の123百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、国内向けが増加した一方で海外向けが減少したことから、売上高は対前年同期比87百万円減（2.9%減）の2,960百万円となりました。

国内向けの売上高につきましては、主力の『正露丸』及び『セイロガン糖衣A』を中心に堅調に推移したことから、対前年同期比で増加となりました。

海外向けの売上高につきましては、香港市場において円安効果の影響もあり好調に推移したものの、中国市場における輸出に必要となるライセンス更新手続に伴う一時的な出荷制限による影響を受けて、対前年同期比では減少となりました。

セグメント損益につきましては、当第2四半期は海外向けの売上高減少により売上総利益が減少したことや、広告宣伝や販売促進を強化したこと等から、対前年同期比144百万円減（10.7%減）の1,198百万円の利益となりました。

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、売上高は対前年同期比325百万円減（55.1%減）の265百万円となりました。

一般用製品につきましては、店頭販売は前年同期を上回る水準で好調に推移したものの、前期末に増加した流通在庫の影響等で当社からの出荷が減少したこと等から、売上高は対前年同期比で減少となりました。業務用製品につきましては、株式会社デンソーと共同開発した『クレベリン カートリッジ（車両用）』が前年同期を上回り、新製品『クレベリン LED』を販売開始したことから、売上高は対前年同期比で増加となりました。

セグメント損益につきましては、売上総利益において前年同期は返品調整引当金戻入益が多額に計上された反動や、対前年同期で広告宣伝や販売促進を強化したこと等もあり、対前年同期比447百万円減の265百万円の損失（前年同期は181百万円の利益）となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は対前年同期から横這いの12百万円となった一方、セグメント損益は対前年同期比1百万円増の10百万円の損失（前年同期は12百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は16,276百万円（前連結会計年度末比2,322百万円減）となりました。負債合計は3,936百万円（同2,189百万円減）、純資産合計は12,340百万円（同133百万円減）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、新工場建設投資等による現金及び預金の減少等による流動資産3,428百万円の減少、新工場設備関係支払手形の決済等による流動負債2,208百万円の減少、配当等による純資産133百万円の減少等であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末から8.6ポイント上昇し75.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が前連結会計年度末より3,481百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は、1,957百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は1,442百万円（前年同四半期は1,311百万円の使用）となりました。主に税金等調整前四半期純利益203百万円の資金増加に対し、法人税等の支払額624百万円、未払又は未収消費税等の増減額445百万円、売上債権の増加額380百万円及び未払金の減少額286百万円等の資金減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は2,772百万円（前年同四半期は1,390百万円の使用）となりました。主に定期預金の払戻による収入842百万円等の資金増加に対し、有形固定資産の取得（新工場建設に係る設備投資等）による支出3,376百万円等の資金減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は741百万円（前年同四半期は949百万円の使用）となりました。主に配当金の支払319百万円等の資金減少に対し、短期借入金の純増減額1,000百万円等の資金増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）は定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社は大型設備投資である新工場建設を契機として、減価償却方法の検討を行った結果、生産される製品については今後安定的な需要が見込まれており、使用する有形固定資産は概ね耐用年数内で安定的に稼働し、投資効果が平均的に生じると考えられるため、より適切な費用配分を行うため定額法が合理的であると判断したことによるものであります。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が21,998千円、経常利益が22,040千円、税金等調整前四半期純利益が34,874千円、それぞれ増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,119,251	2,076,449
受取手形及び売掛金	1,863,209	2,245,983
商品及び製品	1,328,488	1,155,457
仕掛品	626,711	688,835
原材料及び貯蔵品	225,636	242,105
その他	327,403	656,269
貸倒引当金	△12,500	△15,000
流動資産合計	10,478,202	7,050,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	937,710	3,405,622
機械装置及び運搬具(純額)	451,980	455,105
土地	1,323,068	2,231,849
建設仮勘定	4,679,470	2,318,364
その他(純額)	235,457	328,464
有形固定資産合計	7,627,687	8,739,405
無形固定資産	31,560	27,448
投資その他の資産	461,587	459,495
固定資産合計	8,120,835	9,226,350
資産合計	18,599,038	16,276,450
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,904	331,235
短期借入金	—	1,000,000
未払金	1,426,509	1,120,835
未払法人税等	610,010	28,386
返品調整引当金	87,000	84,000
賞与引当金	93,240	47,440
設備関係支払手形	2,110,880	15,336
その他	326,117	168,001
流動負債合計	5,003,662	2,795,236
固定負債		
長期末払金	562,700	562,700
退職給付に係る負債	522,870	541,244
その他	36,314	37,224
固定負債合計	1,121,884	1,141,169
負債合計	6,125,546	3,936,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	364,124	385,947
資本剰余金	275,353	297,176
利益剰余金	12,475,803	12,279,666
自己株式	△921,777	△921,777
株主資本合計	12,193,503	12,041,012
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	215,726	210,710
その他の包括利益累計額合計	215,726	210,710
新株予約権	64,261	88,321
純資産合計	12,473,491	12,340,044
負債純資産合計	18,599,038	16,276,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,651,708	3,238,237
売上原価	1,047,170	922,728
売上総利益	2,604,537	2,315,508
返品調整引当金戻入額	346,000	87,000
返品調整引当金繰入額	209,000	84,000
差引売上総利益	2,741,537	2,318,508
販売費及び一般管理費	1,772,053	1,920,622
営業利益	969,483	397,886
営業外収益		
受取利息	3,120	2,763
為替差益	102,524	—
受取賃貸料	3,792	7,866
その他	4,692	2,206
営業外収益合計	114,129	12,836
営業外費用		
支払利息	—	1,010
為替差損	—	2,729
賃貸費用	315	837
支払手数料	1,593	—
解体撤去費用	1,400	—
その他	239	1,104
営業外費用合計	3,548	5,681
経常利益	1,080,064	405,040
特別利益		
移転補償金	—	12,657
特別利益合計	—	12,657
特別損失		
固定資産除却損	—	3,535
工場移転費用	—	189,424
事務所移転費用	—	21,233
特別損失合計	—	214,194
税金等調整前四半期純利益	1,080,064	203,503
法人税、住民税及び事業税	170,542	53,432
法人税等調整額	207,229	26,677
法人税等合計	377,771	80,109
四半期純利益	702,292	123,393
親会社株主に帰属する四半期純利益	702,292	123,393

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	702,292	123,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,422	—
為替換算調整勘定	△48,021	△5,016
その他の包括利益合計	△50,444	△5,016
四半期包括利益	651,848	118,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	651,848	118,377
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,080,064	203,503
減価償却費	127,836	123,769
固定資産除却損	—	3,535
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	26,175	18,374
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△137,000	△3,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△198,594	△45,821
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△121,588	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	500	2,500
受取利息及び受取配当金	△4,236	△2,765
支払利息	—	1,010
為替差損益 (△は益)	△72,717	218
売上債権の増減額 (△は増加)	△319,560	△380,626
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△281,471	95,053
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,194	△31,277
未払金の増減額 (△は減少)	△377,759	△286,322
未払又は未収消費税等の増減額	△9,757	△445,780
その他	△142,898	△73,424
小計	△432,203	△821,051
利息及び配当金の受取額	5,161	5,000
利息の支払額	—	△1,010
法人税等の支払額	△884,175	△624,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,311,218	△1,442,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△203,433	△278,236
定期預金の払戻による収入	310,161	842,113
有形固定資産の取得による支出	△1,491,926	△3,376,461
投資有価証券の取得による支出	—	△20,000
差入保証金の回収による収入	—	69,441
その他	△5,159	△9,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,390,357	△2,772,616
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,000,000
リース債務の返済による支出	△7,792	△6,963
自己株式の取得による支出	△641,656	—
配当金の支払額	△323,977	△319,412
新株予約権の行使による株式の発行による収入	24,083	41,618
新株予約権の発行による収入	—	26,086
財務活動によるキャッシュ・フロー	△949,342	741,330
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,352	△7,688
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,663,270	△3,481,000
現金及び現金同等物の期首残高	8,222,672	5,438,535
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,559,401	1,957,534

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,047,610	590,667	13,430	3,651,708	—	3,651,708
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,047,610	590,667	13,430	3,651,708	—	3,651,708
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,342,435	181,846	△12,144	1,512,137	△542,653	969,483

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,960,046	265,204	12,986	3,238,237	—	3,238,237
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,960,046	265,204	12,986	3,238,237	—	3,238,237
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,198,259	△265,627	△10,561	922,070	△524,184	397,886

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載の通り、有形固定資産の減価償却の方法については、従来、当社及び国内連結子会社は定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)は定額法)を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の「医薬品事業」のセグメント利益が14,272千円増加し、「感染管理事業」のセグメント損失が4,509千円減少しております。また、「調整額」に含まれる各報告セグメントに配分していない全社費用が3,216千円減少しております。